令和３年度事業報告書

1. 法人の理念

事業期間：令和３年７月１日～令和４年３月31日。

NPO法人「こころのはな」は「競争せずに自分を育てる」「共に教え合い学び合う」ことに幸せと使命を感じ、全ての人が持っている「こころのはな」を大切にしたいという理念のもとで活動しています。

2. 事業活動の報告

「脱ひきこもり」支援事業・「子ども食堂」・「子どもの居場所」の活動を継続しました。

また、「ひきこもり女子会」・「ひきこもり家族会（対話交流会）」・「講演会」を開催いたしました。具体的な活動は以下の通りです。

1）　藤田さんのトークライブは、「未来の心配よりも　今日を楽しく生きたい」という内容を話していただきました。参加費500円で約20名の参加者が来られました。（令和３年11月６日）

「ターニングポイントとなった６つのきっかけについての対話交流会」（全国家族会エスポワール代表山田孝明さん、京都コレカラ、ＮＰＯ法人こころのはな共催）には、参加費500円で11名の参加者が来られました。（令和４年１月22日）

ひきこもり女子会・交流会は、全１４回（ZOOM配信含む）実施しました。延べ約140名の参加者が来られました。

上記で京都府地域交響プロジェクト交付金を936,000円頂きました（未収入金含む）。また、オムロン基金より318,000円頂きました。

2）　子ども食堂は、蔓延防止法下はお弁当にて、毎月２回、全２４回開催し、延べ参加数　508人（子ども409人、保護者99人）でした。京都府から264,000円の補助金、オムロン基金より200,000円頂きました（未収入金含む）。

3）　脱ひきこもり支援事業では、京都府から1,000,000円の補助金、自己負担分105,000円を合算しました。不登校の高校３年生男性を約１週間、20代の男性を約４週間お預かりしました。通所者は10名来られました。相談支援多数。

4)　子どもの居場所事業では、令和３年度は、生活充実通年型で105日(朝食提供型含む)と１泊２日の宿泊体験を　２回(夏・冬休み)実施致しまして延べ604人(内ひとり親家庭479人)の参加があり、京都府から委託金として5,270,000円を頂きました。配送事業を２回行い、688,500円を頂きました。
翌年度（令和４年度）は、生活充実通年型を100日でスタートすることが、できております。

5)　理事長をはじめ多くの方から寄付金と、宇治市社会福祉協議会や青谷学園のストックセンターより食材を頂きました。

6)　学生ボランティア団体（ドット.JP）より、8月・9月・2月・3月の４ケ月間に、13名の学生を受け入れました。学生主体で「未来教室」という子育て支援事業を夏休みに開催し、 京都府から委託金として274,000円を頂きました。

・令和３年度会計報告・・・別紙の通り（9か月間)。

3.理事会の開催

令和３年12月20日
議案：令和３年度中間事業報告・補正予算・ＤＶ利用者（令和３年４月）の費用不払いの件・役員補充
決議：令和３年度中間事業報告・補正予算・ＤＶ利用者（令和３年４月）の費用不払いの件・役員補充を承認した。

令和４年４月９日
議案：令和３年度事業報告・役員理事の変更
決議：令和３年度事業報告・役員理事の変更を承認した。

令和４年５月21日
議案：令和３年度事業報告・令和４年度事業計画・監査報告
決議：令和３年度事業報告・令和４年度事業計画・監査報告を承認した。